

## 第 3 章 出火用途別火災状況

### 1 住宅

#### (1) 火災状況

平成20年中の住宅（共同住宅を含む）の火災は、表3-1-1に示すとおり37件で建物から出火した火災（54件）の69%を占めており、前年の61%（建物火災62件のうち、住宅・共同住宅の火災38件）に比べ8%増加しました。

表3-1-1 火災状況

	合 計	住 宅 火 災				焼 損 床 面 積  (㎡)	焼 損 表 面 積  (㎡)	損 害 額  (千円)	死 者  (人)	負 傷 者  (人)
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					
平成18	34	3	0	13	18	405	102	48,957	1	30
19	38	5	2	11	20	799	17	88,667	2	11
20	37	7	0	13	17	741	90	118,450	2	12

平成20年中の火災を焼損程度別にみると、前年に比べ全焼、部分焼がいずれも2件増加し、半焼が2件、ぼやが3件減少しました。焼損床面積をみると、58㎡減少しています。

部分焼以上の火災件数は20件で、延焼拡大率（建物火災件数に占める部分焼以上の火災の割合）をみると、54%となっています。

#### (2) 出火原因

住宅の主な出火原因を示したのが、図3-1-1です。最も多いのが「こんろ」の11件で住宅火災の30%を占めています。

続いて多いのが「放火」5件・「たばこ」5件（それぞれ14%）、「ストーブ」3件（8%）となっています。

出火箇所及び出火原因を示したものが、表3-1-2です。

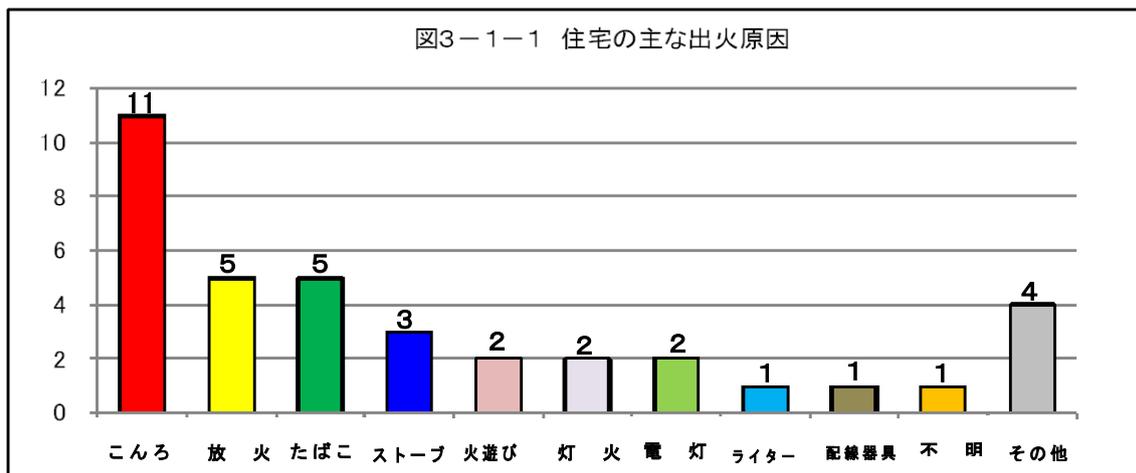


表3-1-2 出火箇所及び出火原因

出火原因	合計	出火箇所								
		台所	居室	置場	廊下	階段室	ベランダ	敷地内	床下	その他
合計	37	13	17	1	1	1	1	1	1	1
こんろ	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	5	-	1	1	1	1	-	-	-	1
たばこ	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-
火遊び	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
灯火	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
電灯	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
ライター	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
不明	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	-	1	-	-	-	1	1	1	-

### (3) 火災への対応

#### ア 初期消火の状況

平成20年中に発生した37件の住宅火災のうち、70%にあたる26件で初期消火が実施されました。そのうち、初期消火の効果があった火災は20件で77%を示しています。初期消火の方法としては、「水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた」(15件中、11件効果あり)、「粉末消火器」(5件中、5件効果あり)、「寝具、衣類等をかけた」(4件中、3件効果あり)、「もみ消す」

(2件中、1件効果あり)となっています。

また、初期消火が実施されなかった11件中9件で、部分焼以上の延焼状況となっています。

#### イ 死者・負傷者発生状況

平成20年中の住宅火災では、死者が2名(放火自殺によるもの1名、一酸化炭素中毒1名)発生しています。また、負傷者は12名(火炎にあおられる・高温の物質に接触する9名、煙を吸う2名、その他1名)となっています。

#### (4) 住宅火災の出火事例

出火事例	「たばこの不始末から出火した火災」
り災建物	木造平屋建て2軒長屋住宅
被害状況	全焼
概要	この火災は、布団付近で喫煙した火種が落下若しくは完全に消えていないたばこが落下したことに気付かず、そのまま寝込んでしまったため敷布団に着火し出火したものです。 (住宅用火災警報器未設置。)

写真3-1-1 「建物が延焼している状況」

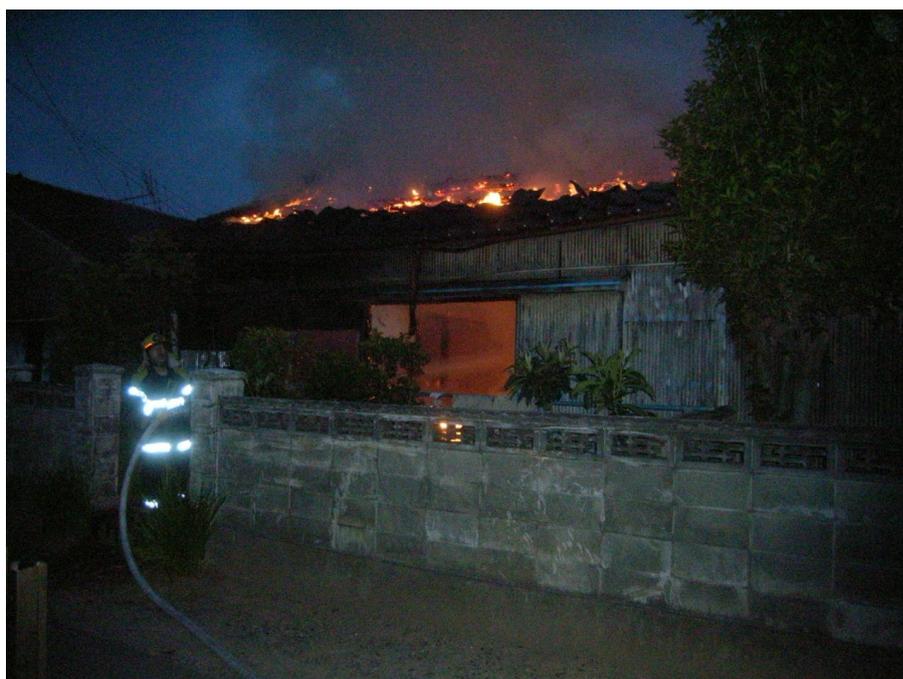


写真 3 - 1 - 2 「焼損した室内の状況」



## 2 車両

### (1) 火災状況

平成20年中における車両火災は、17件発生しています。

過去5年間の車両火災の発生状況は、表3-2-1に示すとおりで、前年(平成19年中)と比較すると発生件数は6件増加し、損害額は921千円増加しました。発生件数は過去5年間において2番目に多い数値となっています。

車両火災による死者及び負傷者は発生しませんでした。

焼損台数は18台で、内訳は乗用車が8台で、次いで貨物車7台、特殊車3台となっています。

表3-2-1 車両火災の発生状況(過去5年間)

年別 平成	全火災件数	車両火災 件数	割合	損害額(千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
16	184	30	16%	13,021	0	1
17	139	16	12%	5,492	1	0
18	127	12	9%	1,626	0	0
19	135	11	8%	4,156	0	1
20	117	17	15%	5,077	0	0

### (2) 出火時の状態

平成20年の17件の発生状況は、「走行中に出火」が10件と最も多く、全体の59%となっています。次に「駐車中に出火」が5件で、「停車中に出火」・「作業中に出火」がともに1件となっています。

### (3) 出火原因

#### ア 走行中によるもの

「走行中に出火」では、5件が乗用車の火災、4件が貨物車の火災、1件が特殊車の火災となっています。

原因としては、「たばこ」・「マッチ・ライター」・「電気装置」・「排気管」・「電気機器」・「溶接機・切断機」がいずれも1件、「その他」・「不明」がともに2件となっています。

「その他」とは、断熱材の一部が、高温となっているシリンダーヘッド付近に接触したものと、スパークによって、漏洩していたエンジンオイル及び混合ガスに着火したものです。

#### イ 駐車中によるもの

「駐車中に出火」では、3件が乗用車の火災、2件が貨物車の火災で、合計6台が焼損しています。

原因としては、「放火」によるものが2件、「たばこ」・「電気装置」・「排気管」がいずれも1件となっています。

#### ウ 停車中によるもの

「停車中に出火」は、特殊車の火災1件となっています。

原因としては、「たばこ」のよるもので、喫煙したたばこの火種が人為的な理由で落下したのとなっています。

#### エ 作業中によるもの

「作業中に出火」は、特殊車（パッカー車）の火災1件となっています。

原因としては、「LPガス」によるもので、不燃物に混ざり込んだLP残留ガスが、荷箱内で圧縮され引火したのとなっています。

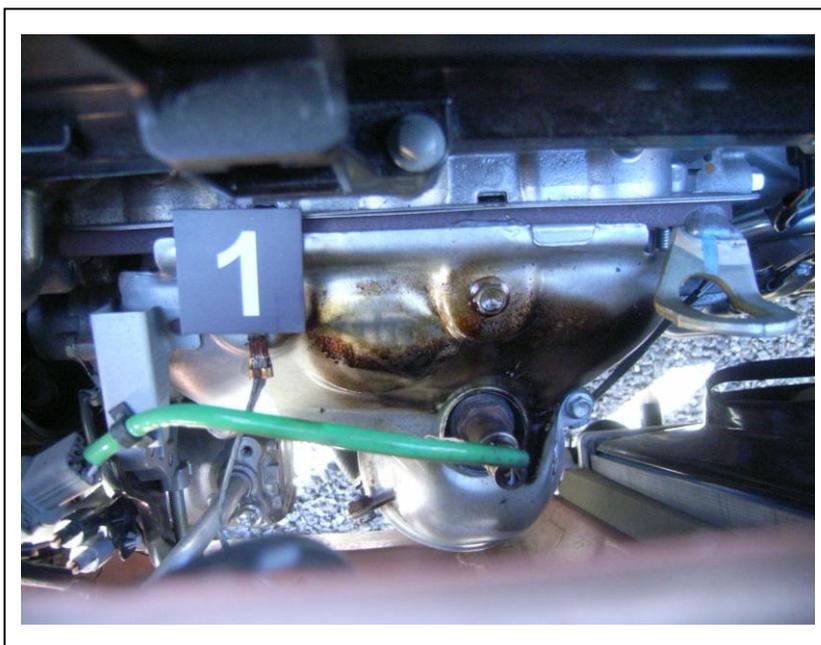
#### (4) 車両火災の出火事例

- 出火事例 1 「駐車中の車両から出火した火災」  
り災物件 軽乗用車  
概要 この火災は、エンジンルーム内にウエス（布きれ）を置き忘れ、高温状態のエキゾーストマニホールド（排気管）のカバーに接触し出火したものです。

写真 3 - 2 - 1 「置き忘れたウエスの状況」



写真 3 - 2 - 2 「エキゾーストマニホールドの焼損状況」



**出火事例 2 「走行中の車両から出火した火災」**

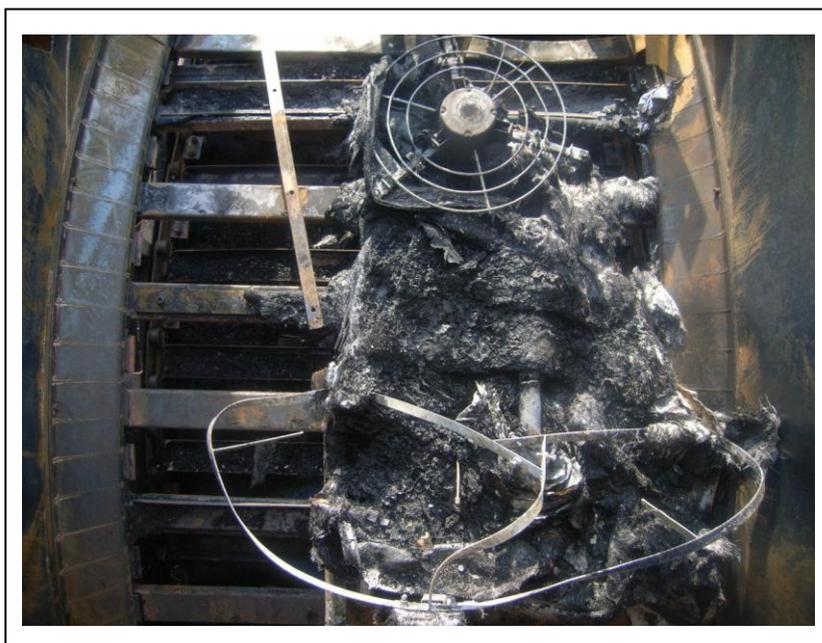
**り災物件 貨物車**

**概要** この火災は、アセチレンガス溶断時に発生した火花が、荷箱内の紙屑に落下し着火後、無炎燃焼を継続し走行中に出火したものです。

写真 3 - 2 - 3 「焼損した貨物車の状況」



写真 3 - 2 - 4 「炭化物の状況」



車両火災 表3-2-2 平成20年中の車両火災一覧

発生月	発生場所	内訳	原因
1月	東野新町1丁目地内 遊技場駐車場内	塵芥車	荷台・船そう 不明・運転中
1月	高山町1丁目地内 市道路上	普通乗用車	機関部 その他・運転中
3月	東野町西3丁目地内 共同住宅敷地内	軽トラック(2台)	運転席 放火・駐車中
5月	勝川新町3丁目地内 市道路上	普通乗用車	運転席 たばこ・走行中
6月	牛山町地内 市道路上	普通乗用車	機関部 電気装置・運転中
6月	坂下町1丁目地内 県道路上	塵芥車	荷台・船そう その他(LPG)・作業中
6月	勝川町6丁目地内 複合ビル駐車場内	普通冷蔵冷凍車	運転席 たばこ・停車中
6月	鳥居松町5丁目地内 国道路上	普通乗用車	グローブボックス マッチ・ライター・運転中
7月	十三塚町地内 東名高速道路上り337.3KP付近	普通トラック	外周部 不明・走行中
8月	花長町2丁目地内 主要地方道路上	普通貨物自動車	荷台・船そう 溶接機・切断機・走行中
8月	大泉寺町地内 東名高速道路春日井IC内	普通貨物自動車	外周部 排気管・走行中
10月	中野町1丁目地内 市道路上	小型貨物バン	機関部 電気機器・運転中
10月	廻間町地内 病院職員駐車場	普通乗用車	機関部 電気装置・駐車中
10月	十三塚町地内 市道路上	普通乗用車	運転席 放火・駐車中
11月	大手町2丁目地内 市道路上	軽トラック	助手席 たばこ・駐車中
11月	中央台1丁目地内 物品販売店舗駐車場内	軽乗用車	機関部 排気管・駐車中
12月	西尾町地内 中央自動車道下り内津峠PA内	軽乗用車	機関部 その他(スパーク)・運転中

### 3 危険物施設等

#### (1) 危険物製造所等の火災状況

平成20年中は、一般取扱所で3件発生しました。原因は、低温着火、排気管及び不明がそれぞれ1件となっています。

#### (2) 少量危険物施設の火災状況

平成20年中は、少量危険物貯蔵取扱所が存在する建物または敷地で2件発生しました。原因は、火花がシンナーに着火したものと溶断した鉄鋼が塗料に引火したものとなっています。

#### (3) 指定可燃物施設の火災状況

平成20年中は、指定可燃物の届出施設で発生した火災はありませんでした。

#### (4) 危険物施設の出火事例

出火事例 1	「一般取扱所の火災」
り災物件	工場敷地内の木質搬送コンベヤー
概要	木質搬送コンベヤーのケーシング内において、堆積する木屑が長期間にわたり、強いこりがり摩擦の伝導過熱にさらされ、低温着火し出火したものです。

写真3-3-1 「焼損状況」



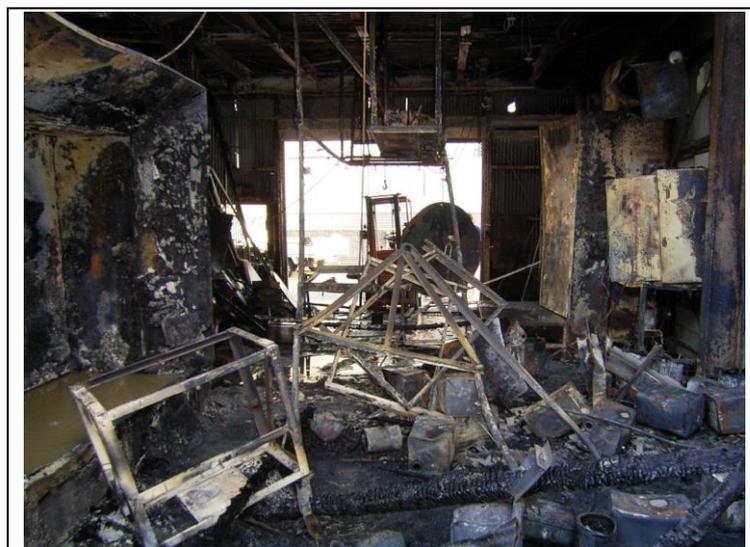
出火事例 2  
り災物件  
概 要

「危険物取扱所の火災」  
鉄骨造 2 階建て工場  
静電塗装用の高電圧発生装置を清掃中、火花がシンナーに着火したものです。

写真 3 - 3 - 2 「焼損状況」



写真 3 - 3 - 3 「焼損した工場内の状況」



## 4 査察対象物

### (1) 火災状況

平成20年中における査察対象物（第3種査察対象物以上の対象をいう。）の火災は25件発生しました。これは、建物火災件数の46%と約半数を占め、全火災件数の21%を占めています。

政令用途別の火災発生状況は表3-4-1のとおりです。

表3-4-1 政令用途別火災発生状況

政令用途		合計	焼損程度				負傷者
			全焼	半焼	部分焼	ぼや	
合計		25	1		13	11	3
(2)項イ	キャバレー・クラブ	1				1	
(3)項ロ	飲食店	3			3		
(4)項	百貨店・マーケット	1			1		
(5)項イ	旅館・ホテル	3			2	1	
(5)項ロ	共同住宅・寄宿舍	14			5	9	3
(12)項イ	工場・作業所	1	1				
(15)項	官公署	1			1		
(16)項イ	複合用途（特定）	1			1		

### ※査察対象物

防火対象物を春日井市予防査察規程で特別第1種、第1種、第2種及び第3種に査察対象物として区分したものをいう。

(2) 政令用途別出火原因

政令用途別の主な出火原因は「こんろ」が8件で、政令用途別の全出火原因に占める割合は32%となっています。次いで「放火」が6件、「たばこ」が4件となっています。

査察対象物施設で発生した原因別件数は表3-4-2のとおりです。

表3-4-2 政令用途別出火原因

用途別 原因別	合計 25件	(2) 項 イ	(3) 項 ロ	(4) 項	(5) 項 イ	(5) 項 ロ	(12) 項 イ	(15) 項	(16) 項 イ
		キャバレー・ クラブ	飲食店	百貨店・ マーケット	旅館・ ホテル	共同住宅 ・寄宿舍	工場・ 作業場	官公署	複合 用途
こんろ	8		3			5			
放火	6			1	3	2			
たばこ	4	1				3			
灯火	2					2			
ストーブ	1					1			
マッチ・ライター	1					1			
排気管	1							1	
その他	2						1		1

(3) 査察対象物別火災発生状況

査察対象物を特別第1種、第1種、第2種、第3種別に区分し、火災発生状況をみたのが、表3-4-3です。(春日井市予防査察規程参照)

特別第1種査察対象物とは、消防法施行令(昭和36年政令第37号。以下「令」という。)別表第1の防火対象物のうち、消防法第8条の2の2による防火対象物定期点検報告制度、防火対象物自主点検報告表示制度を対象とする防火対象物。(春日井市予防査察規程平成15年4月1日改正。)

第1種査察対象物とは、令第21条第1項(第7号を除く。)の該当する防火対象物で特別第1種査察対象物以外のもの。

第2種査察対象物とは、令第10条第1項(第4号を除く。)又は令第24条第2項の該当する防火対象物で特別第1種及び第1種査察対象物以外のもの。

第3種査察対象物とは、延べ面積が150㎡未満の防火対象物で、特別第1種及び第1種査察対象物並びに第2種査察対象物以外のもの。

表3-4-3 査察対象物別状況

用途区分		査察対象区分		合計	特別 第1種	第1種	第2種	第3種
		イ	ロ					
合計				25	4	11	9	1
(2)項	イ	キャバレー・クラブ		1		1		
(3)項	ロ	飲食店		3	1		1	1
(4)項		百貨店・マーケット		1		1		
(5)項	イ	旅館・ホテル		3	2	1		
(5)項	ロ	共同住宅・寄宿舍		14		7	7	
(12)項	イ	工場・作業場		1			1	
(15)項		官公署		1		1		
(16)項	イ	複合用途		1	1			

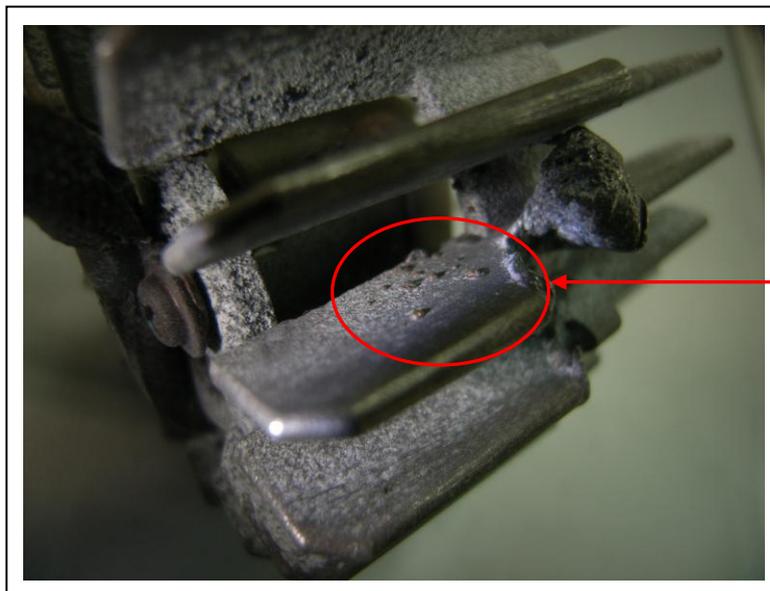
(4) 査察対象物の出火事例

出火事例 1 「天井裏から出火した火災」  
り災物件 鉄骨造 2 階建て 公衆浴場  
防火管理 該当  
被害状況 部分焼  
概要 V V F ケーブルが白熱灯照明器具に接触し、断熱材で覆われた状態であるため、熱が放散されずに、配線のビニル被覆が、高温の状況下で熔融し、V V F ケーブルと白熱灯照明器具で短絡が生じたものです。

写真 3 - 4 - 1 「延焼中の天井裏の状況」



写真 3 - 4 - 2 「短絡痕の状況」



短絡痕

出火事例2 「アロマキャンドルから出火した火災」  
り災物件 軽量鉄骨造2階建て共同住宅  
防火管理 非該当  
被害状況 部分焼  
概要 アロマキャンドルに火をつけベッド北側の机の上に置いて就寝したところ、掛け布団がアロマキャンドルの火に接炎して掛け布団に着火したものです。

写真3-4-3 「焼損した部屋の状況」



写真3-4-4 「アロマキャンドルを復元した状況」



アロマキャ  
ンドル

## 5 その他

### (1) 火災状況

平成20年中のその他の火災は43件で、前年と比較すると15件減少しました。

主な出火原因は、「放火」が16件(37%)、「焼却炉」・「火遊び」・「たき火」がいずれも4件(9%)となっています。

焼損物件別にみると、「枯草(着火物が枯草、落葉、立木、芝草、積わらに分類されるもの)」が17件(40%)、「ごみ類(着火物がごみ類、紙屑、ごみ屑に分類されるもの)」が7件(16%)、「その他の物(着火物が合成樹脂と成形品、繊維製品等の枯草・ごみ類以外に分類されるもの)」が19件(44%)となっています。

出火箇所をみると、「敷地内」が15件(35%)と最も多く、「公園」が10件(23%)、「河川敷」が4件(9%)となっています。

出火箇所及び出火原因を示したものが、表3-5-1です。

表3-5-1 出火箇所及び出火原因

出火原因	合計	出火場所										
		敷地内	公園	河川敷	田畑	道路	屋上	空地	競技場	運転席	広告塔	その他
合計	43	15	10	4	3	2	1	1	1	1	1	4
放火	16	5	7			1		1	1	1		
焼却炉	4	4										
火遊び	4	1	2	1								
たき火	4	1			3							
たばこ	3			1		1						1
マッチ・ライター	1						1					
溶接機・切断機	1	1										
取灰	1	1										
その他	8	2	1	2							1	2
不明	1											1

ア 月別の火災発生状況は、表 3-5-2 に示すとおりです。

表 3-5-2 月別発生状況

	枯 草	ごみ類	その他
1 月	1 件	1 件	1 件
2 月	1 件	0 件	0 件
3 月	1 件	0 件	2 件
4 月	3 件	0 件	4 件
5 月	0 件	0 件	2 件
6 月	1 件	1 件	2 件
7 月	5 件	0 件	1 件
8 月	1 件	2 件	1 件
9 月	0 件	0 件	1 件
10 月	0 件	1 件	2 件
11 月	3 件	1 件	2 件
12 月	1 件	1 件	1 件
小 計	17 件	7 件	19 件
合 計	43 件		

イ 時間別発生状況は、表 3-5-3 に示すとおりです。

12時から18時の昼間から夕方にかけての時間帯で20件（47%）発生しています。これは、焼却炉やたき火等の火の拡大による出火原因が考えられます。

表 3-5-3 時間別発生状況

発生時間	0 時	2 時	4 時	6 時	8 時	10 時	12 時	14 時	16 時	18 時	20 時	22 時	不明
	～ 2 時	～ 4 時	～ 6 時	～ 8 時	～ 10 時	～ 12 時	～ 14 時	～ 16 時	～ 18 時	～ 20 時	～ 22 時	～ 24 時	
件数	0 件	3 件	0 件	1 件	3 件	4 件	5 件	9 件	6 件	2 件	4 件	3 件	3 件

(2) 枯草が焼損した火災

その他の火災の中で40%を占める、枯草が焼損した火災17件をみると、4月から8月に10件(59%)がこの時期に発生しています。

原因別発生状況は表3-5-4のとおりです。

出火原因は、「放火」が5件で最も多く、以下、「火遊び」・「煙火」がそれぞれ3件となっています。

表3-5-4 原因別発生状況

出火原因	放火	火遊び	煙火	たばこ	たき火	マッチ	石油バーナー
件数	5件	3件	3件	2件	2件	1件	1件

(3) ごみ類が焼損した火災

ごみ類が焼損した火災7件をみると、2月から5月までは発生がなく、8月から12月に5件と最も多く、ごみ類が焼損した火災の71%がこの時期に発生しています。

出火原因は、「放火」・「火遊び」・「たばこ」・「火花が飛ぶ」・「自然発火」・「伝導過熱」・「その他」がそれぞれ1件となっています。

(4) その他の火災の出火事例

出火事例 1 「たばこにより出火した火災」

り災物件 植生ネット及び枯草

概 要 この火災は、何者かが投げ捨てたたばこの吸殻が無  
炎燃焼を継続し、周囲のヤシ繊維の植生ネットに着火  
した後、風に煽られて枯草に延焼拡大したものです。

写真 3 - 5 - 1 「焼損した枯草の状況」



※ 鑑識表示板（No. 1 ～ 7）はたばこの吸殻を示す。

**出火事例2 「焼却炉により出火した火災」**

**り災物件 材木**

**概要** この火災は、焼却炉の煙突から出た火の粉が、材木集積場に飛び火して出火したものです。

写真3-5-2 「材木の延焼状況」



写真3-5-3 「焼却炉の状況」

